

## 三重県認知症介護指導者としての関りと 認知症の方を知るきっかけとなる取り組み

三重県認知症介護指導者

山口 見真

キーワード: 次世代への職業選択肢として裾野を広げる  
取り組み 道を改めるチャンス

## 活動の概要(活動の主体:個人)

## 【活動目的】

我が国における福祉人材の減少が大きな課題となる中、小学生(高学年)、高校生、児童養護施設、保護者(PTA等)に対して認知症ケアの理解や介護士の付加価値を高める授業・講演を行い、将来目指す事が可能な職業として1つの選択肢となれる様な取り組みを行いました。

## 【活動内容】

- ・各市町村の教育委員会へ提案を行い、返答があった市町村の学校での授業を行いました(無償)
- ・口コミから保護者に広がった保護者向けの講演を行いました(無償)

## 活動のきっかけ、背景(指導者として・ボランティア・経験豊富な運営担当としての立場で)

娘から「お父さんは何の仕事をしているの?」と聞かれ、「歳をとっていく事で出来た事が出来なくなっていったりすることがあるから、それをお手伝いしたり、その大切さを人に広める仕事をしているよ」と返答すると「アンパンマンやん!」という返しがあり、そこでアンパンマンになりきってみるのはどうだろうか考えた事が活動のきっかけです。

年々介護人材が減っていく中で、次世代の子供たちが介護という仕事が楽しい職業であるという事、いつか自分たちの祖父母や近所のお年寄りが困っていた時に、勇気を出して関わる事が出来たらという思いがあり、それを行動に移せないか考えた事が背景としてあります。

## 活動の経過と成果

## 【活動の経過】

本格的に動き始めたのは令和元年度からで、どこからのバックアップも無く個人的な働きかけの為、門前払いが大半。現在も活動の周知を地道に行っています。

子供たちが飽きずに楽しいと思ってもらえるよう、演習を増やした内容を心がけています。

## 【活動の成果】

成果についてのアンケートなどは取っていないため数値化はできていませんが、参加者などとのコミュニケーションの中で継続が必要だと感じています。

## 今後の展望

この取り組みを行う中で、介護人材の付加価値を更に高めていく必要性が強くと感じています。幅広く取り組みたいという思いから、長年勤めた社会福祉法人の共感を得て、県外の社会福祉法人へと異動しました。現状では「法人内を良くしていく為に」という小さなコミュニティでしか取り組めていない為、勤務外でこの取り組みを行っています。しかし、これらの取り組みを評価、賛同してくれる企業や仲間が周囲におり、そこから企業化して積極的に活動する為に、令和3年度に法人を立ち上げる予定です。

これまでの私の生い立ちとして、非行に走った時代があり、その時に自分を必要としてくれる存在が欲しいと強く感じていました。その為、更生施設への働きかけも増やし、少しの過ちからも道を改め、自分が活躍出来る場所を提供していく取り組みを検討しています。